



校友会報

Contents

- 2 新会長・新副会長 就任あいさつ
- 3 新研究科長・新学部長 メッセージ
- 4 校友会設立10周年記念事業開催
- 6 校友ネットワーク
- 7 仕事場からのメッセージ
- 8 キャンパスニュース・校友会ニュース
- 10 トピックス
- 11 校友会会則
- 12 東日本大震災ボランティア活動報告・インフォメーション



新会長・新副会長 就任あいさつ



関西福祉大学校友会
会長
藤田正樹
社会福祉学部
2000年度卒業

このたび、関西福祉大学校友会会長を仰せ付けられました藤田です。卒業生のネットワークが深まるよう、元氣いっぱい頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

そして、先日2月26日には恩師をはじめ、懐かしい皆さんと盛大なパーティーを開催できましたこと、心より御礼申し上げます。本当に楽しいひと時でしたが、10年という節目を機に、卒業生が会長を務めることになりました。3000名を超す会員の皆さんに支えていただきながら何とかこの10年を迎えることができました。今後は、卒業生の皆さんにとつて関西福祉大学がいつも心の片隅にいられるような、そしてフツとしたときに「久しぶりに遊びに行ってみようかな…」と思ってもらえるよう、校友会を通じて情報発信をしていきたいと考えています。卒業生同士、そして大学とのコミュニケーションを充実させるイベント等も今後増やしていきたいと考えておりますので、ぜひご参加ください。

本学建学の精神、「人間平等」「個性尊重」「和と感謝」。この3つの言葉を、卒業して10年経った今、あらためて読み返すと、この言葉の大切さを感じることができました。自然と歴史にあふれる赤穂市で、社会福祉学部しかなかった入学当初、数少ない学生・教員・職員がひとつの「家族」という想いで、ともに笑い、ともに泣き、ときには叱咤し合いながら4年間を過ごしてきました。お互いを思いやり、感謝し合う精神が育まれてきたと今改めて感じています。きっと、時代は変わっても同じような思いが社会福祉、そして看護を学ぶ現役学生の皆さんの心にあると思います。今の社会の中では、どうしても「個性尊重」が先走っている傾向があります。相手を思い、感じ、感謝の気持ちを持ってこそ個性が尊重されていくのではないのでしょうか。今後もこの建学の精神を大切に、日々頑張っていきたいと考えています。

4年間学んだ関西福祉大学が、いつまでも身近に感じられる、そんな校友会を皆さんとともに作ってまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。



関西福祉大学校友会
副会長
藤井宏昭
社会福祉学部
2004年度卒業

まず、副会長就任にあたりまして、平成23年3月11日、宮城県三陸沖を震源とした東日本大震災において地震や津波の被害にあわれた皆様に心よりお見舞いを申し上げるとともに、ご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げます。まだ強い揺れを伴う余震が続く日々ですが、改めて被災地で生活を送られている方々におかれましては、一日も早く普段の生活へ戻れますよう、皆様のご無事を心よりお祈り申し上げます。

関西福祉大学校友会としても、この未曾有の大震災による被害に対し、何かできることはないかと、藤田会長をはじめ各委員が意見を出し合い、また、校友会会員からも支援の声を頂いており、何ができ、何が必要なのかの検討を進めております。

さて、校友会設立10周年を機に、藤田会長が初めて卒業生の中から選出され、それに伴い、この度、副会長に就任させて頂くことになったのですが、その役目、責任の重さをひしひしと感じている最中です。

先輩たちが築いてこられた、この校友会をいかに発展させ、今後も続く校友会の後輩たちにどうつないでいくのか、今、校友会はその主体が卒業生に任されたことから、校友会そのものの在り方についても大きくその方向が問われております。もちろん、校友会の力だけでどうなるわけでもなく、大学との協力関係、在校生との関わりも、とても重要であることには変わりありません。

校友会が、柔軟、且つ、あるべき方向に進んでいくために、校友会会員の皆様を考えやご指摘が必要です。副会長として就任するからには、私自身も常にアテンナを高くし、視野を広く持ち、今後の校友会活動に尽力できればと思っております。今後とも、ご理解と、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



大学院・社会福祉学研究科長
村上 貴美子
【研究分野】
社会福祉発達史／社会福祉政策
社会保障論

「もし、何歳にでも生まれ変われるとしたら何歳に生まれ変わりたい?」「今の年齢がいいわ」。この会話は20数年前に交わした友との会話です。今、また尋ねられたら、やはり「今の年齢」と答えることでしょう。

小学生、中学生の頃の「夢」。それは小学校の先生、しかも1年生の担任になることでした。ピカピカの1年生に「知らないことを知る喜び」を伝えたくったのです。高校生の頃の夢。それは小学校の先生が社会福祉関係の仕事に就くことでした。「生きる」意味を問い、「その喜び」を伝えたくったのです。

母子家庭で、貧困生活を余儀なく、ようやくの思いで高校を卒業した私は、国家公務員・初級職(今のⅢ種)として働くことになりました。31歳、ようやく「夢」の実現の第一歩を踏み出しました。大学進学です。学部・大学院博士前期課程を修了した時、指導教授から言い渡されました。「あなたは年齢と、学歴にギャップがあるので、ストレートに大学に就職は無理でしょう。」と。ならば、そのギャップを埋められるまで、公務員として働きながら、研究を続けていこうと、その時から「仕事と研究」の「二足の草鞋」を履きました。

小・中学生の頃の「夢」は、今、形を変えて実現しました。高校生の頃の「夢」も形を変えて実現しました。今の「夢」は、学体系を継承してくれる後輩を育てることです。そのことのゆえに、今・ここに私がある喜びをかみしめています。ご一緒に、「夢」の実現に向けて学びの楽しみをかみしめてみませんか!!



社会福祉学部長
平松 正臣
【研究分野】
社会福祉原論／ボランティア論
人権

平成23年4月1日、関西福祉大学社会福祉学部長を拝命いたしました。

職責の重大さと思うと共に、改めて大学の発展のために尽力したいという熱い思いが日々募ってくるのを感じています。関西福祉大学に学ぶ学生や教職員の皆様が充実した毎日を送れるように、また、先輩諸氏が母校として、これから先も誇れるような素晴らしい大学作りを目指して、最善を尽くして参りたいと思えます。

「人間平等」「個性尊重」「和と感謝」の建学の精神に基づき、福祉の心をもち未来の福祉社会を創造する人材の育成や地域社会の発展に貢献できる人材の育成が本学の使命であります。

これからの社会福祉教育は、人間が「唯一無二」の掛け替えのない存在であるという考えをしつかりと据えた人権思想と哲学を基礎として取り組む必要があります。合理主義や功利主義の中に幸せや平和な社会は生まれません。社会福祉学部は人間が聖なる存在であるという考えを根源においた思想を基礎に据え、理論と技術をしつかり身につけた実践力のある人材の育成に努めて参ります。

探求と深い思索、報いを求めない献身こそが人々の幸せ、すなわち社会福祉に貢献することにつながり、さらには、これからの研究・教育に求められる姿勢であると信じて止みません。
教職員が「和と感謝」の理念を常に心に刻み、学生を育むという愛情を忘れずに接することが自然に出来るような環境作りを努めたいと思います。



看護学部長
小野 ツルコ
【研究分野】
公衆衛生看護学

今年4月1日付で看護学部長に就任しました。看護学部が開設されました平成18年から勤務しておりますので今年で6年目になります。担当は地域看護学で主として保健師教育課程に係わる科目です。

まずは私の自己紹介をさせていただきます。私は岡山県で看護師、保健師として看護の現場で仕事をした後、石川県(金沢大学)、愛媛県(愛媛大学)、岡山県(岡山大学、岡山県立大学)などの大学を経て本校にきました。どこに行っても「住めば都」で、それぞれの地に愛着があります。春夏の高校野球や都市対抗駅伝などは、応援する県が沢山ありその期間中、目が離せません。本学にきてからは兵庫県も加わり、楽しさが倍加しました。

最近テレビを見ていて「なるほど」と気づかされたことがあります。それは東日本大震災の後、放送されている「心は誰にも見えないけれど、心づかいは見える」、「思いは見えないけれど思いやりは、誰にも見える」というフレーズと共に、若者が妊婦さんに席を譲る場面や、階段を上っているお年寄りの肩に手をかけているテレビ画面です。
「心づかい」や「思いやり」は看護や福祉の領域では基本的に当たり前のことですが、テレビをみて改めて目に見えない心の教育の大切さを感じさせられました。普段の何気ない生活の場面で、手助けの必要な人を瞬時に察知して、自然に行動がとれるように心掛けたいと思います。

「校友会設立 10周年記念事業開催」

平成23年2月26日（土）、関西福祉大学校友会設立10周年記念事業として、校友会臨時総会及び10周年記念パーティーがホテル日航姫路において開催されました。

校友会の臨時総会では、藤田正樹さんが卒業生として初めて会長に選出されました。

総会終了後、懐かしい恩師の方々をお迎えしてパーティーが盛大に催されました。



午前11時「校友会臨時総会」開催

平成22年10月31日に開催された校友会定期総会において、会則が改正され、卒業生（正会員）から会長を選出することとなりました。このため10周年記念行事にあわせて臨時総会を開催し、会長の選出を行いました。

臨時総会では、今津智博さん（社会福祉学部、2007年度卒業）が議長として議事進行を行いました。議長として「会長選出について」では、理事会から藤田正樹さん（社会福祉学部、2000年度卒業）を会長に推薦し、副会長に藤井宏昭さん（社会福祉学部、2004年度卒業）を推薦することが報告されました。

審議の結果、満場一致で藤田正樹さんが会長、藤井宏昭さんが副会長に選出され、当日より職務を遂行することとなりました。





午後12時半「10周年記念パーティー」開催
 ホテル日航姫路「光琳の間」において卒業生162名、退職教職員25名、現職教職員38名、在学生24名の計249名が出席して、校友会設立10周年記念パーティーが開催されました。

開会に当たり藤田正樹新会長より、10周年を迎えた喜びと、卒業生の協力を得ながら今後ますます校友会を発展させていきたい旨の挨拶が行われました。続いて安井秀作学長が、お祝いのメッセージと共に本学と校友会の発展を祈念する旨の挨拶を行いました。

そして、藤井新副会長の乾杯の発声により、祝宴が始まりました。
 恩師からのメッセージでは、初代学長の鍛冶拓美先生と社会福祉学部元教授の小林敏子先生から思い出話や卒業生との再会を喜ぶお言葉をいただきました。また現職教員を代表して上野輝夫先生（社会福祉学部教授）、岩間文雄先生（社会福祉学部准教授）のスピーチが行われました。

テーブルを囲む歓談の場では、恩師や卒業生が昔話に花を咲かせたり、仕事や育児などの情報交換をしたりと和やかな雰囲気にも包まれていました。パーティーの後半には、吹奏楽部の卒業生と在学生による演奏が行われ、記念パーティーに華やかな彩りを添えました。

中締めは、校友会会長の中島良介さん（社会福祉学部現3年次生）と学友会メンバーによる一本締めで、出席者全員が心一つにして10周年記念パーティーを閉じました。



校友ネットワーク

平林佳子さん

社会福祉学部 2005年度卒業
勤務先・社会福祉法人 グインホーム
配属先・児童養護施設 グインホーム
(女子主任)



私がグイン・ホームへ就職して6年が経ちました。大学入学前から児童指導員を目指し、大学へ入学してからも児童関係のサークルに入り、ボランティアや実習先も児童関係に行かせていただき、どっぷりと児童方面について学んだ大學生活だったと思います。

実際に働いてみると児童養護施設は、自分の勉強不足や経験不足を痛感することが多々あり日々勉強です。まだまだ半人前ですが、6年経ち、ようやくこの仕事のやりがいや楽しみを味わうことができるようになりました。

特に、毎日側について支援してきた子ども達の入学式や卒業式、音楽会や運動会等の学校行事に立ち合わせてもらう時には喜びもひとしおです。

悩みは尽きることはありませんが、関西福祉大学の卒業生がたくさん職場にいるので、共に切磋琢磨し、良い励みとなっています。また、休日になると旅行に行ったり、出掛けたりする友人がいてくれることで、オンとオフの切り替えができ、新たな気持ちで仕事に臨めるのだと思います。

今ある環境と周囲の人への感謝を忘れず、今後も仕事に邁進し、一人前の指導員となれるよう頑張ります。目下の課題は年々衰える体力の維持ですが……

山口明子さん

看護学部 2011年度卒業
勤務先・赤穂市市民病院
配属先・7南病棟(看護師)



平成23年3月に看護師・保健師免許を取得し、4月から赤穂市市民病院で看護師として働いています。まだまだ慣れないことばかりで、毎日緊張しながら仕事に取り組んでいます。出来ること、分かることが増えてきたので、少しずつ楽しくなっています。

看護師は、患者さんの変化を近くでみることができ、動けなかった患者さんが歩いてトイレに行けるようになったり、患者さんに笑顔が増えていく姿を自分の目で見て感じる事ができ、それが看護師としての喜びだと感じています。

関西福祉大学で過ごした4年間で得たことはたくさんありますが、その中でも特に友達の大切さについて大きな学びがありました。

大量の課題に追われ、1人ではくじけそうになったこともありましたが、周りには頑張っている友達の様子があり、声を掛け合い励まし合える友達がいたことで乗り切ることが出来ました。常によき仲間でありよきライバルでした。そんな友達の存在があったので、国家試験の勉強は楽しみながら取り組むことが出来ました。

楽しいことだけではなく悩みや辛いことも共有し合えた友達、大学時代の大切な財産です。卒業後、場所は離れてしまいましたが、今でも連絡を取り合っけて励まし合っています。

患者さんと患者さんの家族の気持ちに寄り添うことの出来る笑顔の絶えない看護師をめざし、日々学び続け成長していきたいと思っています。

溜北健太さん

社会福祉学部 2009年度卒業
勤務先・社会福祉法人 桜台福祉会
配属先・さくらこども学園
(主任児童指導員・家庭支援専門相談員)



関西福祉大学を卒業し、社会人として早くも2年目を迎えました。そして、この赤穂に縁があるのか、平成22年度より開設された、児童養護施設さくらこども学園に勤務しています。

さくらこども学園には、様々な理由で家庭での養育が困難になった子どもたちが、現在では40名程生活しています。集団生活のため、日々の中でトラブルや問題行動が絶えませんが、その中で大人がしっかりと寄り添ってあげることや、伝えて方向を修正してあげたりと、メリハリを持って支援していくことを心がけています。たくさんの子どもたちに囲まれての毎日、たくさん泣いて、たくさんケンカして、たくさん笑って、たくさん助け合って生活しています。

大学時代といえば、野球とアルバイトに励んでいたことを色濃く思い出します。そこでお世話になった人々、チームメイトなどとは現在も交流があり、会うのを楽しみにしています。また、4年間やり遂げたことが、今のパワーとなっていることをひしひしと感じます。これからもこの赤穂で築いてきたネットワークを大切に、互いの力に変えていけたらと思います。

まだまだひよっ子の僕ですが、子どもたちの明るい未来のために全力で走ります。

仕事場からの メッセージ



小林 智博さん
社会福祉学部 2010年度卒業

医療法人双葉会 西江井島病院
地域連携室医療ソーシャルワーカー
(社会福祉士・精神保健福祉士)

関西福祉大学を卒業して、はや1年が過ぎました。在学時から病院でソーシャルワーカーとして働きたい、様々な専門職の方と関わり患者様の援助がしたいと考えていました。

縁があり現在、明石市にある西江井島病院の地域連携室で医療ソーシャルワーカーとして勤務しています。夢であった職種で1年目から働いていることをうれしく思います。

当院は、一般病棟44床、回復期病棟60床あります。急性期で治療を終え機能回復が必要な方、人工透析が必要な方、施設入所中で治療が必要な方など地域により密着した医療を行っています。50名余りのセラピストがおり、日々1対1でリハビリを行っています。

業務内容として、前方支援では入院・転院の受け入れの相談や面談、入院判定会議、入院患者の送迎などを行っています。後方支援では社会福祉関連の相談、入院中・退院後の相談、各病棟の退院支援カンファレンスの参加などです。

就職したばかりの頃は、医療スタッフの話す専門用語についていけず、様々な専門職の方に教えていただきながら取り組んでいました。就職して1年が過ぎましたが、日々知識や経験を重ねていくことが大切だと強く実感しています。また尊敬できる人の存在が多く、自分のモチベーションも上がっています。

この1年、多くの患者様・ご家族様との出会いがありました。その中で私が特に思い出に残っている患者様がいます。

急性期病院で脳梗塞の治療が終わり、回復期病院でリハビリをして在宅に帰りたいといった転院依頼がありました。66歳男性の方で、脳梗塞後の後遺症として、右片麻痺が残り、車イスに乗ることも介助なしでは困難な状態でした。また自分の唾液でむせ込みをしてしまうため、鼻からの経管栄養での食事しか出来ない方でした。インターネット面接では、奥様と二人暮らしで、今後在宅で生活をしたくない思いがあるが、患者様も奥様も強い不安があったため、その不安な思いを受け止め傾聴することに努めました。リハビリの目標も、杖歩行、経口摂取であり、高い目標をもっておられました。

入院から退院までスタッフが一丸となり関わり
患者様もご家族様も満足されて退院される。
そこにやりがいを感じています。

入院当初は、STや歯科衛生士の経口訓練を行うも、経口摂取があまりできず、主治医からは胃瘻造設の話も出ていました。初期カンファレンスの時は、ご家族様も胃瘻造設をして在宅に帰ることができののだろうかといった不安もあり相談を受けました。その時は、リハビリも始まったばかりですので、もう少し本人の力を信じてご家族様、医療スタッフ皆で本人を見守りましょうと声掛けを行いました。ご家族様が、一人で不安な思いを抱え込んでしまわないようにと心掛けました。

毎日のリハビリを行うことで食事事も徐々に入り、胃瘻造設をせずに経口摂取で生活することが出来るまで回復しました。また右片麻痺も徐々に回復し、杖なしで歩行が出来ることになりました。

今まで全く社会サービスを受けられていなかったため、今後自宅に帰るにあたって、使える制度やサービスの情報提供を行い、ケアマネージャーも付き無事退院することが出来ました。

患者様も奥様も本当に喜んでおられました。「この病院でリハビリが出来てよかったです。医療スタッフの方々には大変お世話になり感謝しています。退院後、今までは主人と二人で出掛けることが少なかったが、これを機に二人で旅行に行こうかと思えます。」と言われた言葉がとて心に残っています。この職種に就いて、やりがいを感じることは、面接で患者様やご家族様の想いを聞き、入院から退院まで医療スタッフが一丸となり関わり、患者様もご家族様も満足されて退院されることです。当初車いすや寝たきりの状態で入院された方が、歩いて今まで生活していた家に退院される姿を見ると、心からよかったです。退院後、患者様やご家族様が地域連携室に訪ねて来られ、退院後の話をしてくださるときはとてもうれしいです。この気持ちを大切に人の役に立てるよう仕事を続けていきたいと思っています。

また地域連携の業務として、医療ソーシャルワーカー連携会があり様々な病院の方との交流があります。関西福祉大学卒業生のソーシャルワーカーも多く、研修などでお会いすることもあり、大学の和を感じています。関西福祉大学で4年間学び、資格を取得することが出来たので今があります。関西福祉大学卒業生のソーシャルワーカーが増え連携がとれる日を楽しみにしています。





大学祭ご案内

汐風祭

第15回
平成23年
10月29日(土)
30日(日)

こんにちは。

おひや ようすけ
大学祭実行委員長の大爺陽亮です。(社会福祉学部2年次生)
今年の大学祭は、来てくださった皆さんに心から楽しんで
頂けるように工夫を凝らしています。卒業生の方、友人の方、
ご夫婦でお子様連れの方もぜひ遊びに来てください。心か
らお待ちしております。

ホームカミングデー開催

平成23年度汐風祭と同時開催

平成23年10月29日(土)・30日(日) 10:00~15:00

恩師との個別相談会開催

平成23年10月29日(土)・30日(日) 10:00~15:00(自由面談)
15:00~17:00(個別相談)

※詳細が決定次第、HPでお知らせいたします。

第7回 発達支援セミナー

《テーマ》 一虐待問題とその支援を巡って一

主催：関西福祉大学・赤穂精華園・赤穂市教育委員会
協力：兵庫県社会福祉事業団・兵庫県臨床心理士会

日時：平成23年
8月19日(金)
10:00~16:00

会場：関西福祉大学



タイムテーブル (予定)	10:00~10:30	開会式
	10:30~12:00	基調講演
	12:00~13:30	昼休憩
	13:30~16:00	各分科会

※講演や分科会のテーマ・内容についての詳細は、
決まり次第関西福祉大学ホームページなどで公開します。

第7回発達支援セミナーは、「虐待問題とその支援を巡って」をテーマに開催します。虐待問題が新聞で取りざたされる日も多い昨今、この問題のエキスパートである才村 純氏(関西学院大学 人間福祉学部教授)による基調講演にてぜひ知識を深めてください。そして、第2部となる分科会では多方面からその支援の方法などを探っていきます。本学学生によるポスター展示や吹奏楽部の演奏、赤穂精華園のやんちゃ太鼓も披露されます。卒業生の皆様もぜひご参加ください。

お申し込み先 関西福祉大学 社会福祉学部実習指導室
お問い合わせ先 Tel.0791(46)2846 担当/八木 修司、奥澤 広美、野山 智恵

平成23年度 学内イベント年間スケジュール

4月	5日(火)	入学式
5月	17日(火)	創立記念日
	28日(土)	オープンキャンパス
6月	18日(土)	オープンキャンパス
7月	16日(土)	オープンキャンパス
8月	19日(金)	第7回発達支援セミナー
	20日(土)	オープンキャンパス
9月	10日(土)	大学院社会福祉学研究科入試(I期)
	23日(金)	オープンキャンパス
10月	29日(土)・30日(日)	汐風祭・ホームカミングデー・オープンキャンパス
	30日(日)	校友会総会
12月	14日(水)	赤穂義士祭
2月	11日(土)	大学院社会福祉学研究科入試(II期)
3月	23日(金)	卒業式・学位授与式

平成24年度 関西福祉大学大学院入試概要 [社会福祉学研究科社会福祉学専攻修士課程]

試験の種類

- ◎一般入学試験：英語・専門科目・面接[研究計画書参考]
- ◎社会人入学試験：小論文・面接[研究計画書参考]
- ◎外国人留学生入学試験：専門科目・面接

全試験共通事項

専攻	課程	修業年限	募集定員
社会福祉学専攻	修士課程	2年	10名

試験日程

	I 期	II 期
出願期間	平成23年8月22日(月)~ 9月5日(月)消印有効	平成24年1月23日(月)~ 2月6日(月)消印有効
試験日	平成23年9月10日(土)	平成24年2月11日(祝・土)
合格発表日	平成23年9月17日(土)	平成24年2月17日(金)

試験会場

本学：〒678-0255 兵庫県赤穂市新田380-3

詳細は、関西福祉大学 入試センター
TEL.0791(46)2500までお問い合わせください。

第11回 平成22年度

卒業式・学位授与式

平成23年3月23日(水)、赤穂市文化会館(ハーモニーホール)において、関西福祉大学第11回卒業式が挙行されました。

卒業を認められた社会福祉学部生265名、看護学部生73名及び社会福祉学研究科修了生3名が卒業証書と学位記を授与されました。

卒業生代表の謝辞では、社会福祉学部の居村和樹さんが、充実した学生生活を送れたことに対し、家族や友人、諸先生並びに職員の方々に感謝の気持ちを伝え、社会人となる決意を述べました。



平成23年度社会福祉士模擬試験のご案内

本年度も下記のとおり社会福祉士模擬試験を開催いたします。是非この機会にご活用ください。(受験料は助成後の金額となっております。)

【実施内容】

No.	月 日	時 間	業者名等	教室	受講料
1	10月8日(土)	10:00~12:00 13:30~15:30	日本社会福祉士会	A100	3,000円
2	10月22日(土)	13:00~15:00 15:30~17:30	日本社会福祉士養成校協会	A100	4,000円
3	11月12日(土)		東京アカデミー	118	2,000円
4	12月3日(土)	10:00~12:00 13:30~15:30	中央法規	118	4,000円
5	1月7日(土)		学内オリジナル	118	無料

【会 場】

関西福祉大学

【申込方法】

- ①電話及び教務課窓口にてお申し込みください。
- ②申込後指定の口座に受験料をお振り込みください。

【申込及び振り込み期限】

平成23年8月31日(水)

【連絡先】関西福祉大学 教務課 担当:立川
電話:0791-46-2735(直) / 0791-46-2525(代)
【振込先】みなど銀行 赤穂支店(普)3551120
学校法人 関西金光学園

平成23年度社会福祉士国家試験対策講座のご案内

是非この機会にご参加ください。

【実施内容】

日 程	時 間	科 目	教室
10月15日(土)	9:00~10:30	社会理論と社会システム	A100教室
	10:40~12:10	現代社会と福祉	
11月19日(土)	9:00~10:30	福祉行政と福祉計画	
	10:40~12:10	社会保障	
12月17日(土)	9:00~10:30	低所得者に対する支援と生活保護制度	
	10:40~12:10	更生保護制度	

【会 場】

関西福祉大学

【申込方法】

電話及び教務課窓口にてお申し込みください。

【申込期限】

平成23年8月31日(水)

【連絡先】関西福祉大学 教務課 担当:立川
電話:0791-46-2735(直) / 0791-46-2525(代)

平成22年度

進路状況・国家試験報告

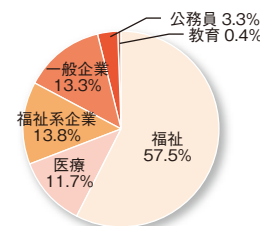
(平成23年3月31日現在)

社会福祉学部 (第11期生)

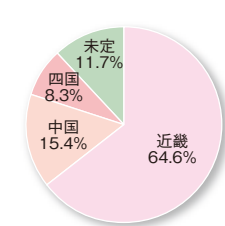
社会福祉学部 就職決定状況

	卒業生数	就職希望者	就職者数	就職率	進学者数
平成22年度	265人	242人	240人	99.2%	3人
平成21年度	254人	231人	225人	97.4%	4人
平成20年度	346人	310人	303人	97.7%	8人

【業種別就職状況】



【地域別就職状況】



社会福祉学部 国家試験合格状況

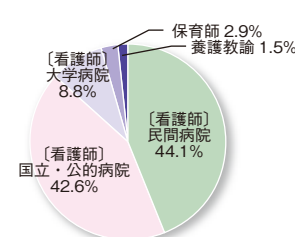
	社会福祉士	合格者総数	うち新卒者数	精神保健福祉士	合格者総数	うち新卒者数
平成22年度	第23回	118人	92人	第13回	34人	19人
平成21年度	第22回	103人	81人	第12回	23人	18人
平成20年度	第21回	173人	134人	第11回	28人	22人

看護学部 (第2期生)

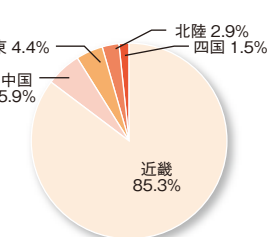
看護学部 就職状況

	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職決定率	進学者数
平成22年度	73人	68人	68人	100.0%	3人
平成21年度	79人	71人	71人	100.0%	1人

【職種別就職状況】



【地域別就職状況】



看護学部 国家試験合格状況

	看護師	合格者数	保健師	合格者数
平成22年度	第100回	71人	第97回	60人
平成21年度	第99回	71人	第96回	53人

北播磨・東播磨・中播磨合同支部設立準備中!!

関西福祉大学の卒業生で北播磨・東播磨・中播磨に在住・在勤する方を中心に校友会支部を立ち上げようと、右記の発起人3名が設立準備をすすめています。設立予定は、平成24年4月1日です。東海支部設立に引き続き、2つ目の支部となります。兵庫県内でも卒業生が多く活躍している地域ですので、活発な支部活動が行われると期待されます。

設立準備の今後の予定ですが、平成23年10月22日(土)19時から加古川にて設立準備会を開催予定です。支部活動に関心がある方、設立に協力して下さる方は、校友会事務局までご一報ください。

《発起人》

藪本大輔さん(社会福祉学部2002年度卒業)

田村智之さん(社会福祉学部2000年度卒業)

山里 護さん(社会福祉学部2003年度卒業・大学院社会福祉学研究科2010年度修了)

各地域の市町は次のとおりです。

《北播磨》西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町

《東播磨》明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町

《中播磨》姫路市、神河町、市川町、福崎町

個別校友会活動報告

団体名 関西福祉大学演劇部1~4期生OB会
活動日 平成23年4月30日(土)

活動の概要

一期生が卒業してからはや10年。結婚して子供のいる会員も多くなったので、今回は赤穂海浜公園でピクニック同窓会を開催しました。

小さな子供が多かったので、お昼前に集合、皆でお弁当を食べ、わくわくランドで遊んで解散というお昼間だけの短い時間となりました。

しかし、久しぶりの面々に、大学時代の思い出話や、子育て話に花を咲かせたり、持ち寄りのお土産を配ったり、3月に結婚した仲間へのメッセージを集めたりと、大変有意義な時間を過ごすことができました。



個別校友会活動助成について

部・サークルのOB会やPSWの集まりなど、在学中につながりのあった者同士の交流である個別校友会の活動助成について、活動の活性化を目的とし、助成を行っています。助成については次の①②に対して行います。お問い合わせ・お申し込みは校友会事務局までお願いいたします。

- ①懇親及び交流会(同期会、部・サークルOB会、ゼミ・クラス会など)は一律10,000円までを助成します。ただし正会員5名以上の参加が必要となります。
- ②研究会、講演会、コンサート等は上限30,000円までを助成します。ただし、正会員10名以上の参加が必要となります。

結婚式祝電サービス について

ご結婚される卒業生の方に、校友会より祝電をお送りします。ご希望の方は、下記の①~⑧を電話かFaxまたはE-mailで校友会事務局までお知らせください。

お知らせください

- | | |
|-------|---------|
| ①お名前 | ⑤式場住所 |
| ②電話番号 | ⑥式場電話番号 |
| ③挙式日時 | ⑦新姓 |
| ④式場名 | ⑧新住所 |

※祝電依頼は挙式当日の1週間前までにお願いします。

原稿募集

- 校友会員の各種集い、部・サークルのOB会、ゼミ同窓会などの様子をお知らせください。
- 会員の皆様それぞれの仕事の内容や仕事上の悩み・喜びなど、1,000字程度の原稿をお寄せください。
- 校友インタビュー・校友ネットワークに登場していただける校友を募っています。自薦、他薦を問いません。事務局までご連絡ください。
- 記事の雰囲気伝える写真、筆者の近影などがあれば添付してください。写真は発行後返却します。
- 原稿及び写真の採否は事務局に一任ください。
- 原稿の加筆、修正、削除などをお願いする場合があります。
- 校友会会報企画・編集に興味のある方は事務局までご連絡ください。
- その他、校友会へのご意見などもお寄せください。(事務局)

第一章 総則

(名称)
第一条 本会は、関西福祉大学校友会と称する。

(本部)
第二条 本会の本部を、赤穂市新田三八〇一(関西福祉大学内)におく。

(目的)
第三条 本会は会員相互の親睦・扶助を図り、教養の向上に努めるとともに、母校の発展を援助し、社会に寄与することを目的とする。

(事業)
第四条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
(一) 会報及び会員名簿の発行
(二) 会員の懇親及び交流
(三) 講演会、研究会等の開催
(四) 母校の発展に寄与する事業
(五) 種々の社会奉仕の事業
(六) その他の必要な事業

第二章 会員

(会員)
第五条 本会の会員の種類及び資格は次のとおりとする。
(一) 正会員 ① 本学の各学部を卒業した者、
② 本学の大学院を修了した者で、本会に入会を希望し、会費を全額納入した者
(二) 進会員 ① 本学の各学部在学学生
② 本学大学院の在学学生で本会に入会を希望する者
(三) 特別会員 本学の現職専任教職員
ただし、旧専任教職員は会費十二万円を全額納入した者に限る。
(四) 賛助会員 ① 本会の目的に賛同する者で、理事会が承認した者
② 特別会員を除く旧専任教職員

(資格喪失)
第六条 本会の名誉をけがした者または本会の目的に反する行為を行なった者は、理事会の決定により除名されることがある。

第三章 役員

(役員)
第七条 本会に次の役員を置く。
一 本部長 一名
(一) 名譽会長 一名
(二) 会長 一名
(三) 副会長 二名
(四) 理事 十五名以内
(五) 幹事 各卒業年度毎に六名以内及び教職職員六名
(六) 顧問 若干名
(七) 会計監事 二名
二 支部役員
(一) 支部長 各支部一名

(役員の選出)
第八条 役員の選出は次による。
(一) 名譽会長は学長とする。
(二) 会長は正会員理事の中から選出する。
(三) 副会長は、正会員理事から一名選出し、ほか一名は名譽会

長の指名した教職員とする。
(四) 理事は正会員幹事の中から選出された者及び名譽会長の指名した教職員とする。
(五) 幹事は各卒業年度毎に正会員中より互選された者及び名譽会長の指名した教職員とする。
(六) 顧問は、理事会の承認を得て会長が委嘱する。
(七) 会計監事は理事会において理事、幹事及び支部長以外の正会員から一名選出し、もう一名は名譽会長の指名した教職員とする。
(八) 支部長は、各支部会員のうち互選する。

(役員の仕事)
第九条 役員の仕事は次のとおりとする。
(一) 名譽会長 名譽会長はこの会の目的を達成するために会長及び理事会に助言を行う。
(二) 会長 会長はこの会を代表して会務を総括し、総会、理事会、幹事会及び支部長会議を召集する。
(三) 副会長 副会長は会長を補佐し、会長について支障あるときは、その職務を代行する。
(四) 理事 理事は理事会を組織し、第十三条第六項に定める事項を行う。
(五) 幹事 幹事は幹事会を組織し、第十四条第四項に定める事項を行う。
(六) 顧問 顧問は会長の諮問に応じ、助言を行うことができる。
(七) 会計監事 会計監事は本会の会計及び収支決算を監査する。

(役員の仕事)
第十条 役員の任期は二年とし、再任を妨げない。ただし、会長、副会長については二期を限度とする。
第十一条 欠員が生じたときは、これを補充することができる。
第十二条 役員の任期は、前任者の現任期間とする。
第十三条 役員は、退任しても後任者が就任するまでは、その責任を免れるものではない。

第四章 会議

(総会)
第十二条 本会に次の会議を置く。
(一) 総会
(二) 理事会
(三) 幹事会
(四) 支部長会議

(総会)
第十三条 総会は毎年一回年度初めにこれを開く。ただし、会長が必要と認めるとき、幹事会の議決のあったとき及び会員総数の五分の一以上から会議の目的事項を示して請求があったときは、臨時総会を開く。
第十四条 総会の召集は、議案、期日、場所等について会員に通知を要することによる。
第十五条 総会の議長は当日出席の会員の中からこれを選ぶ。
第十六条 総会は次の事項について審議し、議決は出席会員の過半数による。可決のときは議長がこれを決する。
(一) 会報及び事業計画の承認
(二) 会計監事報告の承認
(三) 決算及び予算の承認
(四) 会則改訂の議決
(五) その他理事会において必要と認められた事項
第十七条 総会は、原則として理事会及び幹事会において審議し、事項を議題とする。ただし、緊急動議については、出席会員の過半数が承認した場合にのみ議題とすることができる。

(理事会)
第十八条 理事会は会長が必要と認めるとき及び理事五名以上から会議の目的事項を示して請求のあったときを開く。
第十九条 理事会は理事総数の二分の一以上の出席者(委任状持出者を含む)をもって成立する。

三 理事会の議長は会長が務める。
四 理事会の議決は、出席理事の過半数による。
五 理事会は総会及び幹事会に対して責任を負う。
六 理事会において及び幹事会において審議し、これを実行する。
(一) 庶務、会計及び事業に関する事項
(二) 総会及び幹事会の議案の審議
(三) 総会及び幹事会の議決事項の実行
(四) 予算案及び決算書の調整
(五) 職員任免及び処遇
(六) 会則及び役員に関する事項
(七) その他会長の附議した事項

(幹事会)
第十四条 幹事会は理事会の必要と認めるとき及び幹事総数の三分の一以上から会議の目的事項を示して請求のあったときを開く。
第十五条 幹事会は幹事総数の二分の一以上の出席者(委任状持出者を含む)をもって成立し、議決は出席者の過半数による。可否同数のときは議長がこれを決する。
第十六条 幹事会においては次の事項を行う。
(一) 決議の承認及び予算案の協議
(二) 各種事業の検討及び意見書提出
(三) 会則及び細則改訂の承認
(四) 総会の議案の審議
(五) その他必要な事項

第五章 事務局

(記録)
第十五条 総会、理事会、幹事会の議事はこれを記録し、議長及び記録者が署名捺印の上、事務局において保存する。

(事務局)
第十六条 本会本部に事務局を置く。
第十七条 事務局職員は、事務職員を置くことができる。
第十八条 事務局職員は、大学事務局が指名した職員が充てられる。大学事務局に関する規程は、大学事務局と協議の上、会長が別に定める。

第六章 会計

(経費)
第十七条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもってこれに当てる。

(会費)
第十八条 正会員の会費は終身会費十二万円とし、在学中、毎年三万円を納入する。ただし編入生、および大学院生で入会を希望する者については、毎年六万円を納入する。
第十九条 特別会員の会費は終身十二万円とし、在職中毎年度会費二万円を納入する。ただし、会費総額(十二万円)に達する前に退職した者については、第五条により賛助会員として継続することができ、
第二十条 賛助員(第五条第四項)の会費は、入会時に二万円を納入する。
第二十一条 その他、理事会及び幹事会において臨時に会費の徴収が必要と認められた場合は、その都度必要額を徴収する。
第二十二条 この改定後の会費は平成十八年十月二十八日から適用する。
第二十三条 この改定後の会費は平成二十年十月二十八日から適用する。
第二十四条 この改定後の会費は平成二十二年十月二十八日から適用する。

(会計年度、会計監査)
第二十五条 本会の会計年度は、毎年四月一日始まり、翌年三月三十一日に終わる。
第二十六条 本会の収支決算及び財産は、会計監査を経て総会に報告し、承認を得なければならない。

第七章 支部等

(支部の設置、支部長)
第二十七条 理事会の議決を経て都道府県単位に支部をおくことができる。ただし、会員数の多い都道府県は若干の支部に分けることができる。
第二十八条 支部は、原則として当該都道府県に居住する会員をもって構成し、
第二十九条 支部には支部長一名をおく。支部長は、支部会員の互選等により本部役員以外から選出する。任期は二年とする。
第三十条 支部長は支部を更に細分し、班長をおくことができる。

(本部との連携)
第三十一条 支部は支部長名、支部役員名、事務所の所在等を本部に報告しなければならない。
第三十二条 支部は本部の方針のもとに活動し、年度当初に予算、決算等の活動状況を本部に報告しなければならない。
第三十三条 支部長は幹事に出席し、求めに応じて意見をのべるることができる。

(支部長会議)
第三十四条 支部長会議は一年に一回以上開くこととする。
(経費)
第三十五条 支部経費は各支部においてまかなう。本部は支部活動費の補助を行うことができる。

(個別校友会)
第三十六条 校友会は、同期会、クラス・ゼミ同窓会、クラブ・サークルOJ日会、職域会、職種会等の個別校友会を結成することができる。
第三十七条 次の(一)～(三)の条件を満たす個別校友会は、活動実績または活動計画、関連資料および会員名簿を添えて所定の申請書提出し、幹事会の承認を経て認定団体となることとする。
(一) 会長以下の役員が正会員である。
(二) 参加する校友の範囲を客観的に明示できる。
(三) 認定された時点で、本会の組織としてふさわしくない事由があるとき、会長は幹事会の議を経て認定を取り消すことができる。

(個別校友会への助成)
第三十八条 本部は、認定した個別校友会の活動費を助成することができる。

附則

一 この会則は、総会の議決を経なければ改廃することができない。
二 この会則は平成十三年四月一日より施行する。
三 本会設立時から当分の間の会長は、第八条の規定にかかわらず関西福祉大学の学長とする。
四 本会設立時から当分の間の幹事及び理事は、第八条の規定にかかわらず関西福祉大学校友会の会長が指名した者とする。
五 この改定後の会則は平成十五年七月十八日から適用する。
六 この改定後の会則は平成十六年十月二十四日から適用する。
七 この改定後の会則は平成十八年十月二十八日から適用する。
八 この改定後の会則は平成二十年十月二十八日から適用する。
九 この附則の三及び四を廃止し、改定後の会則は平成二十二年十月三十一日から適用する。

災害支援ボランティア活動

本学学生の企画により、大震災から3カ月が経過しようとする平成23年6月10日～6月12日、災害支援ボランティアとして本学の学生19名、教職員3名（合計22名）が宮城県東松島市にて活動しました。東松島市ボランティアセンターを基点として、主に被災家庭周辺水路の清掃活動や避難所運営支援などを行いました。

今回の支援活動を今後の復興支援の足掛かりとし、継続した支援活動の計画を立てております。微力ではありますが、本学の活動が被災された方々の復興支援の一助となれば幸いです。

関西福祉大学校友会では、災害支援活動費の一部を支援しております。



東日本大震災で被災された方々に義援金を送金しました

平成23年3月11日（金）に発生した国内史上最大の大地震による震災に見舞われた皆様におかれましては、心よりお見舞い申し上げますと共に、特に、犠牲になられた方々には心よりご冥福をお祈り申し上げます。

関西福祉大学校友会より、被災者の方々の生活支援をするための義援金を中央共同募金会に20万円送金させて頂きましたことを報告いたします。

平成23年度 人事異動

平成23年1月1日～平成23年4月1日

区分	日付	所属	職名	氏名
採用	H 23.1.1 付	事務局	教務課職員	藤本 敦 禎
		社会福祉	教授	太田 茂
	助教		平田 美千子	
	H 23.4.1 付	看護	教授	岡 須美恵
			教授	藤野 文代
			講師	堀 理江
			助手	佐々木 新介
			助手	加利川 真理
就任	H 23.4.1 付	事務局	総務課長代理	門田 哲夫
			副学長	古瀬 徳雄
		社会福祉	学部長	平松 正臣
昇任	H 23.4.1 付	看護	学部長	小野 ツルコ
		社会福祉	教授	大山 摩希子

区分	日付	所属	職名	氏名
退職	H 23.3.31 付	社会福祉	副学部長	丸岡 利則
			教授	三村 浩史
			助教	佐藤 哲郎
		看護	学部長	松村 悠子
			教授	三澤 久恵
			准教授	大釜 徳政
			助教	磯村 由美
			助教	片山 知美
			助教	橋本 裕
			助教	山元 恵子
			助手	藤井 清美
			職員	総務課長

校友会報 第18号

- 発行日 平成23年7月25日
- 発行所 関西福祉大学 校友会

〒678-0255 兵庫県赤穂市新田380-3
 TEL 0791-46-2525 (大学代表)
 TEL/FAX 0791-46-2715 (校友会事務局)
 ☒ koyukai@kusw.ac.jp

大学HP：
<http://www.kusw.ac.jp/>
 校友会HP：
<http://www.kusw.ac.jp/koyukai/index/index.html>

ひとくちメモ

開 学……………平成9年(1997年)4月
 開設(大学院)……………平成21年(2009年)4月
 学部・学科……………社会福祉学部・社会福祉学科
 (社会福祉専攻、子ども福祉専攻)
 看護学部・看護学科
 大 学 院……………社会福祉学研究科
 教 員 数……………専任64名(助手含む)
 在 学 生 数……………1,165名
 卒 業 生 数(学部) ……累計 3,086名
 卒 業 生 数(大学院) ……累計 3名

平成23年6月30日現在